Windomの解答速報 埼玉医科(前) 化学

1

問１　(1)　１：⑤

(2)　２：④，⑥

(3)　３：③　　３．０ kg

(4)　４：⓪

５：④

６：①　　０．４１

問２　(1)　７：①，③，⑤

(2)　８：③

９：⓪　　３０個

(3)　10：⑥　　２．０ mol

(4)　11：③

12：⑤

13：⑧　　３５８ kJ/mol

2

問１　14：④

15：⓪　　4.0×10^4 Pa

問２　あ　16：④　　０．２０ mol

い　17：②　　０．１０ mol

問３　18：⑧　　３．０ g

問４　19：①

20：④　　1.4×10^4 Pa

問５　21：①

問６　22：③

23：⑥　　3.6×10^4 Pa

3

問１　Ⅰ　24：④

Ⅱ　25：③

問２　イ　26：④

ロ　27：⑧

問３　28：⓪

29：③

30：②　　０３２

問4　A　31：⑧

　　B　32：⑥

問5　　33：①

理科2科目で90分，200点マーク式。
大問3題。計算結果は，選択式(今年は，10択が1題，8択，6択が各1題)と数値をマークするもの(今年は，3けたが3題，2けたが4題)がある。

1　問1(3)のモル計算や(2)硫酸の2段階めの電離度の計算は頻出である。問2のフラーレンやダイヤモンドの構造や熱化学の計算は少し珍しいが難しくはない。

2　混合気体，水蒸気圧の小問6題は，すべて計算を要するが，とにかく数値がきれいに出るので，選択が出ない3題を含めて完答したい。

3　アスパルテームの構造についての小問5題。

アスパルテームの問題は，99年型聖マリをはじめ，慈恵(04年後期)，愛知(09年)，藤田(08年)など流行していた頃は，受験生もその構造式を覚えたものだった。

知識があれば楽だったが，知識がないと難しくはないが，時間との兼ね合いで，合否を分けた問題となったといえる。　全体としては，例年並みの難易度であった。